



# 中央小ものがたり

令和3年6月17日

大村市立中央小学校

発行 石司 貴弘

やさしく かしく たくましく

## 問題をとらえる

聞く・聴く

見る

読む

体験

## 考える



## 伝える

話す

書く

描く

体表現

## 学ぶということ…

運動会という大きな目標に向かって、体をいっぱいを使って「動」の学びを続けました。その成果はご覧いただいたとおりです。

今は、しっかりと落ち着いて「静」の学びに集中しています。時には難しい問題も出てきますが、挑戦する子どもたちの姿はとても美しいです。

## 問題をとらえる

子どもたちは、教師からの情報をインプットします・話を聞く

- ・○○を見る
- ・○○を読む

何をどう学ぶのか見通し（めあて）をもつ

学びの過程ではここが一番大切です。

「おもしろそう！」  
「やってみたい！」

と思わせなければ、その後は「やらされる」だけで、子どもにとって苦痛な時間ではありません。

## 考える

めあてをもった子どもは、いろいろな手を使って解決を目指します

- ・一人で考える
- ・資料をもとに調べる
- ・友達と相談する

○わかったぞ！  
△う～ん、むずかしい  
△わからん、いやだ

子どもが「考える・解決する」ことができる場をつくります。

- ・時間の確保
- ・ヒントの提示
- ・個別の励まし



## 伝える

わかったこと、できたこと、学んだ感想を人に伝えます

- ・文章にする(書く)
- ・絵にする(描く)
- ・言葉にする(話す)
- ・身振り

「私は～だと思えます。」  
「次は～したいです。」

子どもはいろいろな方法で自分の思いを表現します。ここで大切なことは、**ほめる**ことです。自信をもたせて、次への意欲をもたせます。



子どもは素直なので、大人の言うことには従います。

しかし、本当にやる気が起こらなければ、やらされる活動です。学習もお手伝いも、「ようし、やってみよう」と**その気にさせる**のは大人の仕事ですね。

それから、どんなに忙しくても子どものがんばりを見届けて、**ほめて・励まして**いきたいものです。口で言うのはとても簡単ですが、なかなか難しいですね。教師としても、親としてももっとがんばらねば…と思うのです。学校でも家庭でも、子どもたちのやる気を引き出して、成果をしっかりとほめて、伸ばしてまいりましょう。



## 歯と口の健康を守ろう

国民に対して、歯と口の健康に関する正しい知識を普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図り、併せてその早期発見及び早期治療を徹底することにより歯の寿命を延ばし、国民の健康の保持増進に寄与することを目的としています。  
(日本歯科医師会HPより)



中央小学校では、「自分の心と体の健康に関心を持ち、保持増進に努める子ども」を育てたいと考えています。子供たちが、生涯にわたって健康に過ごせるような**生活習慣**を身に付けさせることは、子どもたちへの何よりの贈りものです。みんなで実践し、励ましのお声かけをよろしくお願いします。

## 保護者の皆様へのお願い



すでにお知らせしておりますとおり、中央小学校では「心を見つめる教育週間」を開催します。長崎県における新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、教育委員会とも十分な協議を重ねて実施することといたしました。

授業参観・懇談会を、以下の通りの実施する予定です。

- ☆23日(水)：1・2年生
- ☆24日(木)：3・4年生
- ☆25日(金)：5・6年生

ご来校に際しては、ご自宅での検温と校内でのマスク着用のご協力をお願いします。なお、学校にも入り口に体温計を用意しておりますので、必要に応じてご利用ください。参観の際には、一定の距離を確保するなど、感染防止にご配慮ください。

スクールカウンセラー **長谷川優美**先生から  
子どもたちへのメッセージ



きょう じぶん 今日、自分で自分をじょうずに助ける「セルフケア」についてのお話です。

わたしは、自分の気持ちに点数をつけることがあります。「今の苦しさは60点」とか「楽しさ100点」とかです。自分の気持ちに気づくと、いろんなたいおうができますよね。

みなさんの楽しさ・苦しさはどのくらいでしょうか？